

# たてしん通信

新春号

006号

あけましておめでとうございます！



千葉県内の全ての信用金庫(館山・千葉・銚子・東京ベイ・佐原)が協力して行っている観光誘致事業は、コロナ禍で中断していましたが、亀有信用金庫のツアーで3年ぶりの開催となりました。



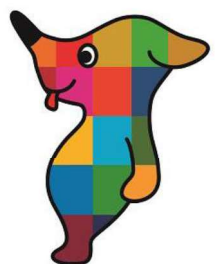
令和5年1月15日



地域と共に、皆様と共に  
館山信用金庫  
<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



『千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん』



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

## 新年を迎えるにあたって

【館山信用金庫理事長】 利田 秀男

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年、当金庫は創立95周年を迎えます。これもひとえに地域の皆様の暖かいご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

昨年の干支は、壬寅（みずのえとら）でした。厳しい冬を乗り越えて、新しい成長の礎となる年、新しいステージに向かう準備段階の年とされ、今年の干支は、癸卯（みずのとう）です。これまでの努力が実を結び、勢いよく飛躍・向上する年とされます。当金庫も経営理念である「地域と共に、皆様と共に」を胸に刻み、飛躍・成長する1年となるように役職員一丸となって努めてまいります。

結びに、令和5年が地域の皆様にとりまして、健康で明るい良き年になりますことを心から祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



## “よい仕事おこし”フェアとは

「信用金庫による地方創生!」「日本を明るく元気に!」をテーマに、東日本大震災からの復興支援を目的として2012年より始めました。城南信用金庫（川本恭治理事長）が事務局を務める実行委員会が主催し、全国の信用金庫が共に絆を深め、中小企業の出会いの場を生み出すための展示商談会です。

コロナ禍によりイベントは3年ぶりの通常開催となり、「コロナに負けるな!大商談会」と題して、開会式では小池東京都知事らが挨拶し、全国からものづくり関連企業、食品関連企業、観光関連企業等440社余りが一堂に会し、自社の技術や商品をPRしました。

南房総地域からは、当金庫の取引先で金属加工を営む株式会社山八様と海外向け冷凍食品を扱う株式会社バックルームボーイズ様がイベントに出展しました。



都内で行われたイベント

**安房地域の2社も出展**  
 信金連携の「よい仕事おこし」フェアに  
 展示商談会  
 全国の信用金庫が協  
 賛する、地域活性化  
 を目指した展示商談  
 会「よい仕事おこし」  
 フェアが、東京ビッ  
 クサイト（東京都江東  
 区）であり、館山信用  
 金庫の取引先の安房地  
 域の企業2社が出展し  
 ました。  
 城南信用金庫が事務  
 局を務める実行委員会

が主催。全国253の  
 信金が協賛している。  
 「信用金庫による地方  
 創生―日本を明るく元  
 気に―」をテーマに毎  
 年開催。コロナ禍でこ  
 こ2年間は、規模縮小、  
 中止となっていたが、  
 3年ぶりに通常開催さ  
 れた。  
 今回はものづくり関  
 連企業160社、食品  
 関連企業192社、観  
 光関連企業26社、そ  
 の他行政、マスコミ、学  
 校関連団体など71団体  
 が一堂に集まった。  
 館山信金の取引先か  
 らは、金属加工の「株  
 式会社山八」（館山市、  
 海外向け冷凍食品を扱  
 う「株式会社バック  
 ルームボーイズ」（鴨  
 川市）が出展。自社の  
 技術や商品をPRし  
 た。

実行委員会の委員を  
 務める館山信金の利田  
 秀男理事長は「イベン  
 トを通じて南房総地域  
 の中小企業者のPR、  
 発展に貢献することも  
 に、全国の信金が一体  
 となって地方創生に取  
 り組んでいきたい」と  
 話している。

令和4年12月25日 房日新聞

# たてしん中小企業景況レポート No.20

令和4年(2022年) 10月～12月

編集・発行：館山信用金庫  
支援部  
TEL:0470-29-3015



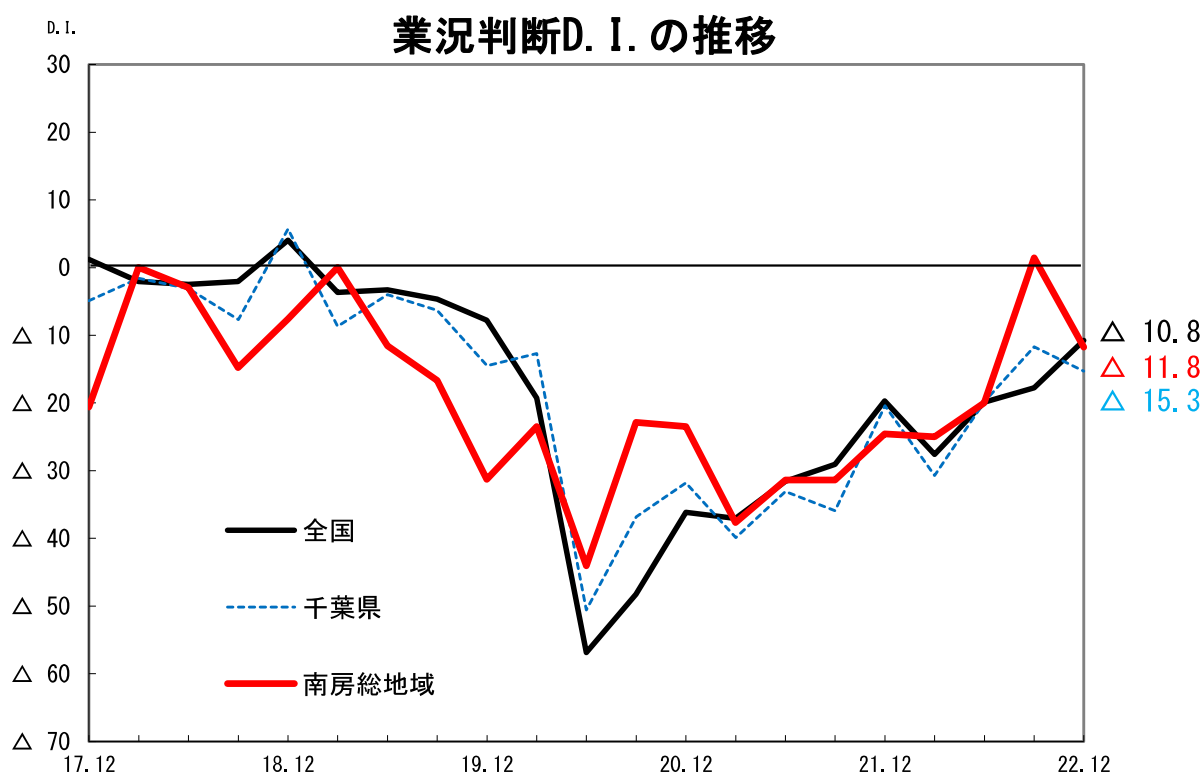
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

## <概況>

令和4年(2022年)10～12月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 10.8$ 、前期に比べ7.0ポイントの改善となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し( $\Delta 15.6$ )を4.8ポイント上回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)



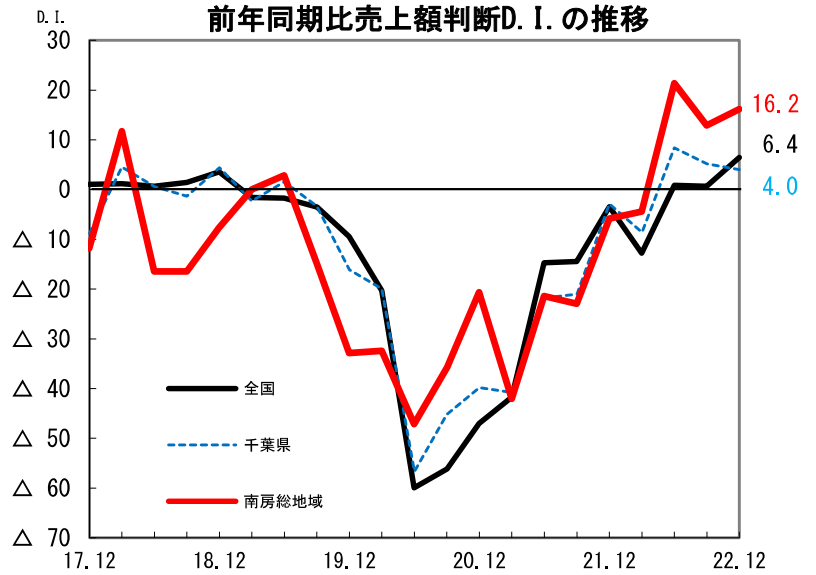
千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 15.3$ と、前期に比べ3.6ポイントの低下となった。

南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 11.8$ と、前期に比べ13.2ポイントの大幅低下となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

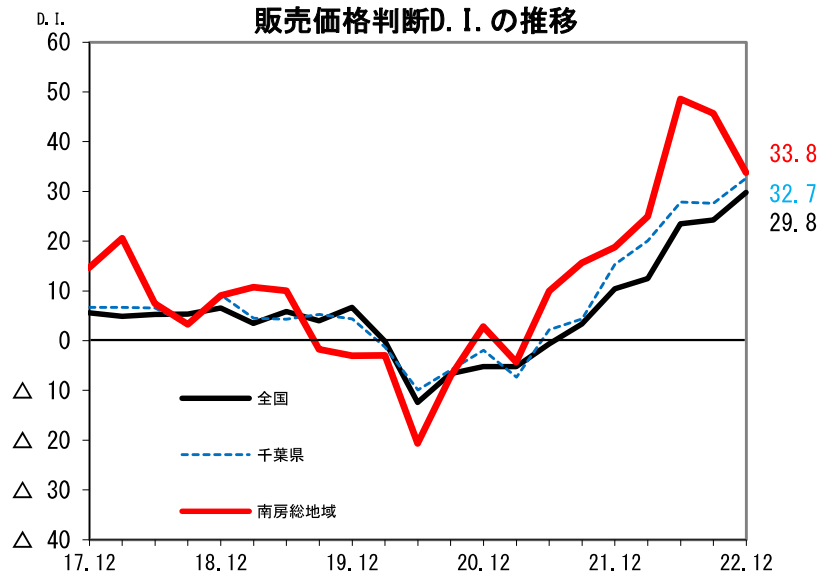
(全国・千葉・南房総)  
売上は上昇傾向

全国の前年同期比売上額判断D.I.は6.4と前期比5.7ポイント上昇となった。  
南房総地域では、16.2と前期比3.3ポイント上昇となり、高水準を維持している。  
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



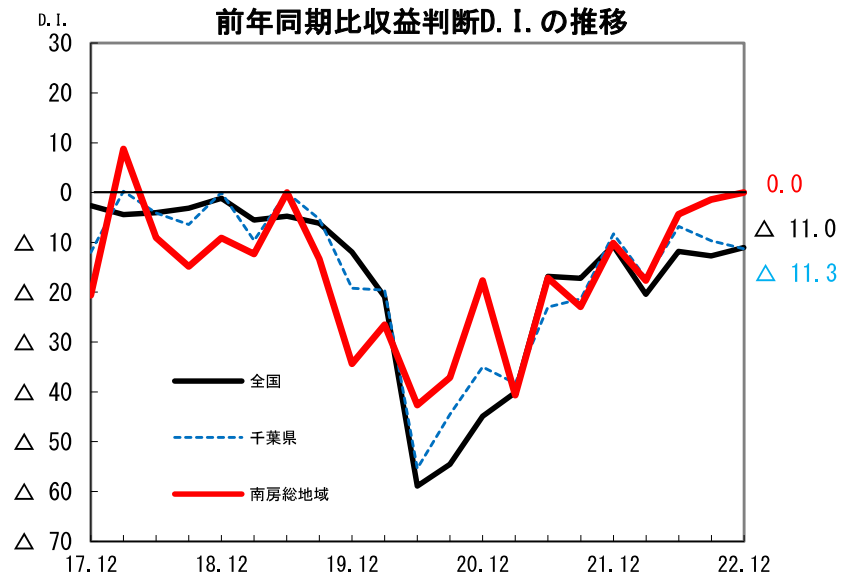
(全国・千葉・南房総)  
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は29.8と前期比5.5ポイント上昇となった。  
南房総地域では、33.8と前期比11.9ポイント大幅な低下となった。  
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



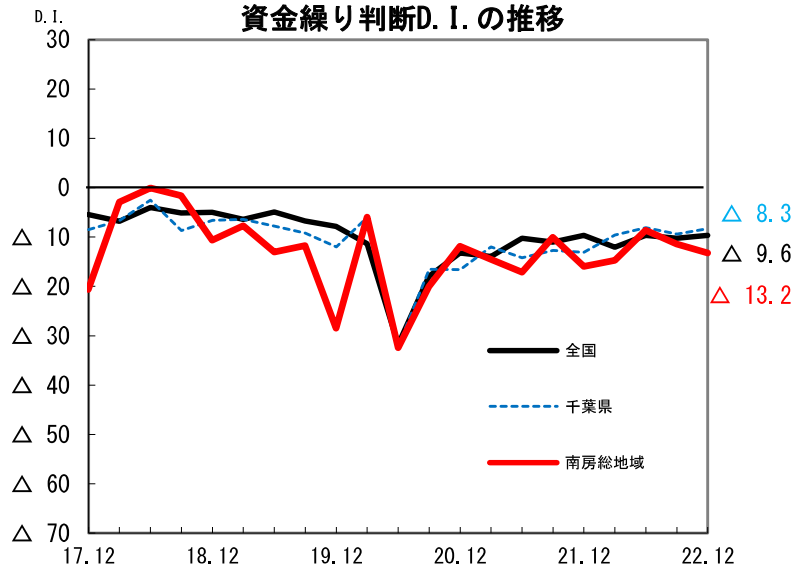
(南房総)  
収益は前年同期比並

全国の前年同期比収益判断D.I.は△11.0と前期比1.7ポイント改善となった。  
南房総地域では、0.0と前期比1.4ポイント改善となった。  
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



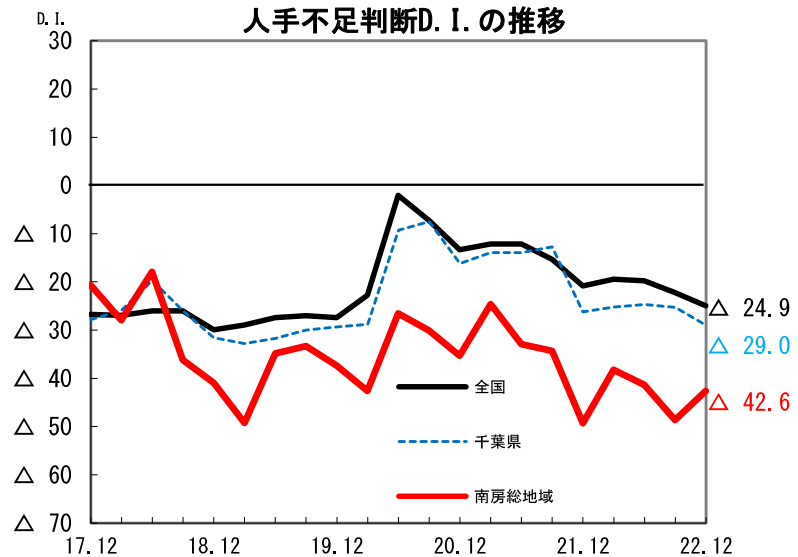
(南房総)  
資金繰りは小幅の低下

全国の資金繰り判断D.I.は△9.6と前期比0.6ポイント上昇となった。  
南房総地域では、△13.2と前期比1.8ポイント低下となった。  
※資金繰り判断D.I.(「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い)



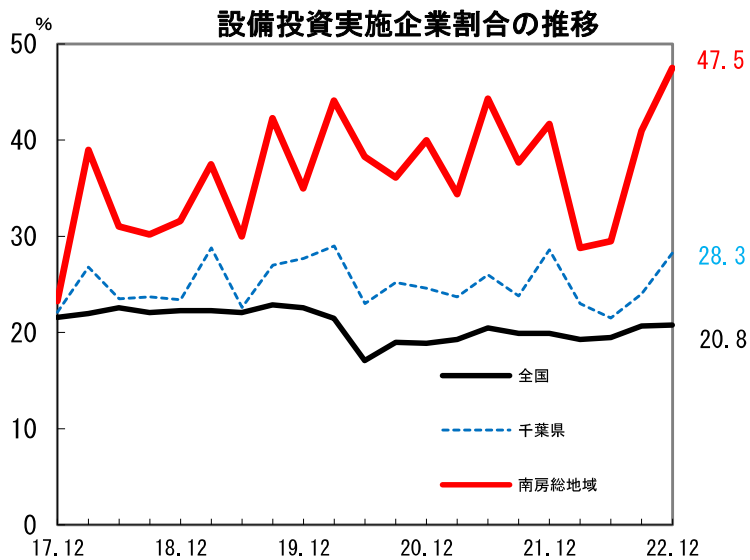
(南房総)  
人手不足感は若干弱まる

全国の人手過不足判断D.I.は△24.9と前期比2.7ポイント強まった。  
南房総地域では、△42.6と前期比6.0ポイント弱まった。  
※人手過不足判断D.I.(「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足)



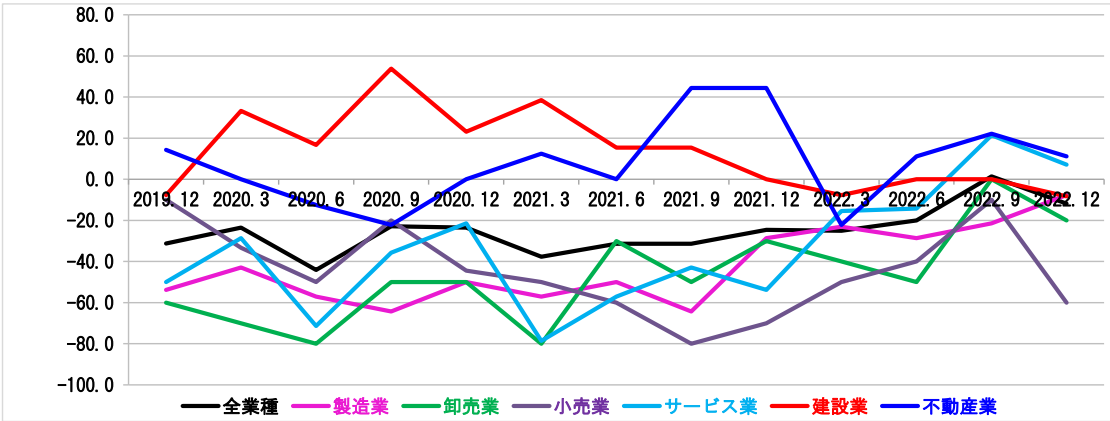
(全国・千葉・南房総)  
設備投資は上昇傾向

全国の設備投資実施企業割合は20.8%と前期比0.1ポイント上昇となった。  
南房総地域では47.5%と前期比6.5ポイント上昇となった。  
※設備投資実施企業割合(設備投資を実施した企業の割合)



# 主要項目時系列表

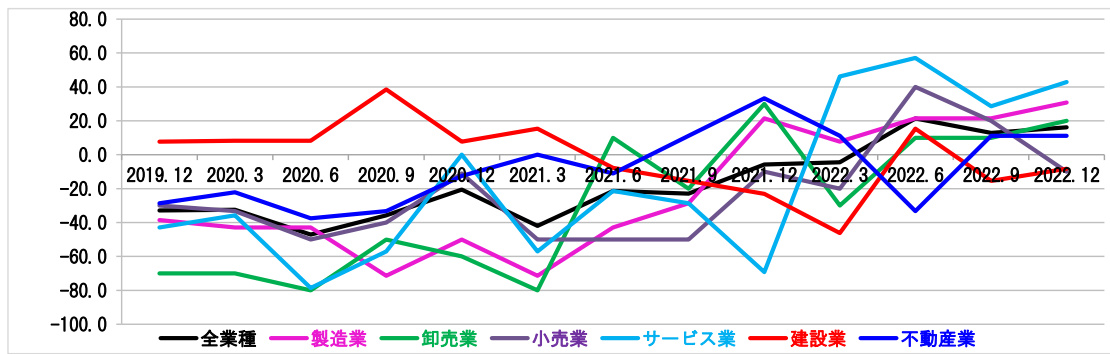
## 業況判断 D.I



区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
全業種	-31.3	-23.5	-44.1	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-19.1
製造業	-53.3	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-29.0	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-23.1
卸売業	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-50.0
小売業	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	60.0	-50.0
サービス業	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-7.1
建設業	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	-8.3
不動産業	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	22.2

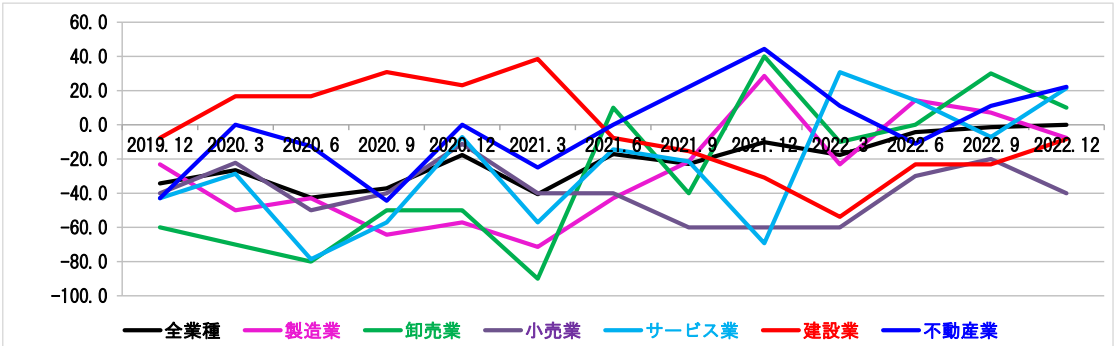
※ 2023.3は、見通しである。

## 売上額判断 D.I (前年同期比)



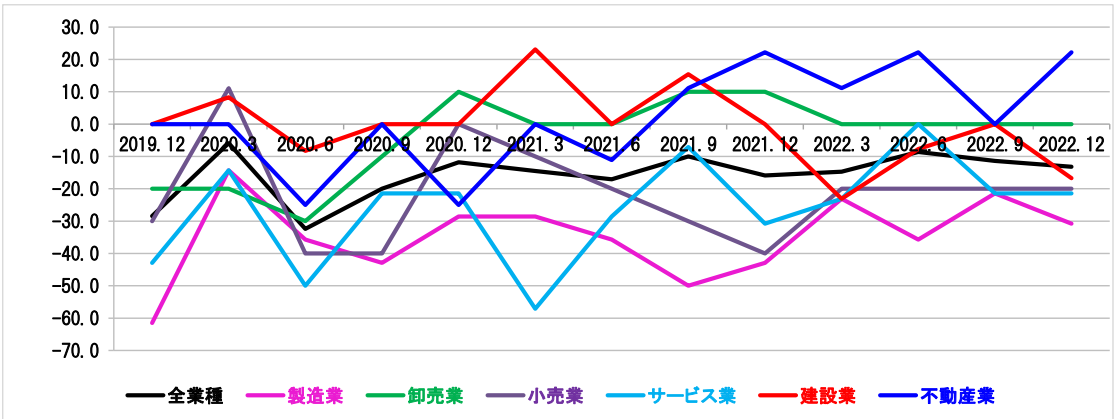
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12
全業種	-32.8	-32.4	-47.1	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8	-4.4	21.4	12.9	16.2
製造業	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8
卸売業	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0
小売業	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0
サービス業	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9
建設業	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3
不動産業	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1

### 収益判断 D.I (前年同期比)



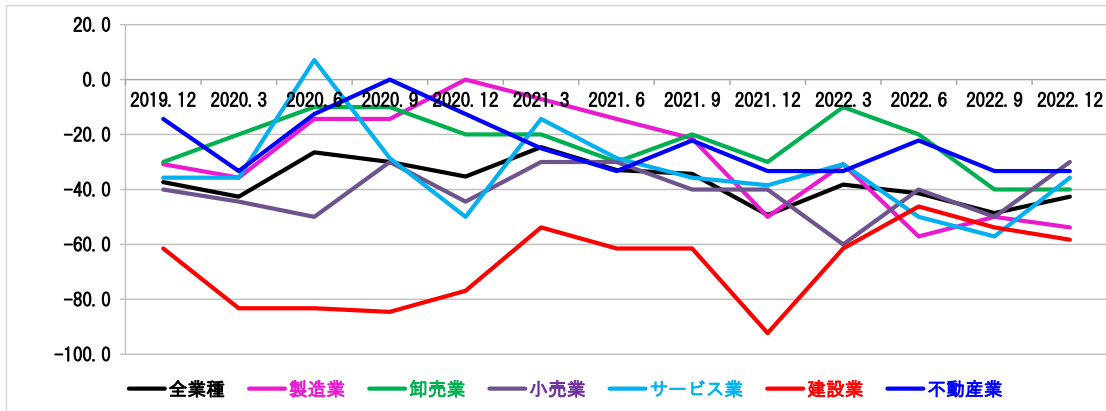
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12
全業種	-34.3	-26.5	-42.6	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1	-17.6	-4.3	-1.4	0.0
製造業	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7
卸売業	-50.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0
小売業	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0
サービス業	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4
建設業	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3
不動産業	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2

### 資金繰り判断 D.I (楽-苦)



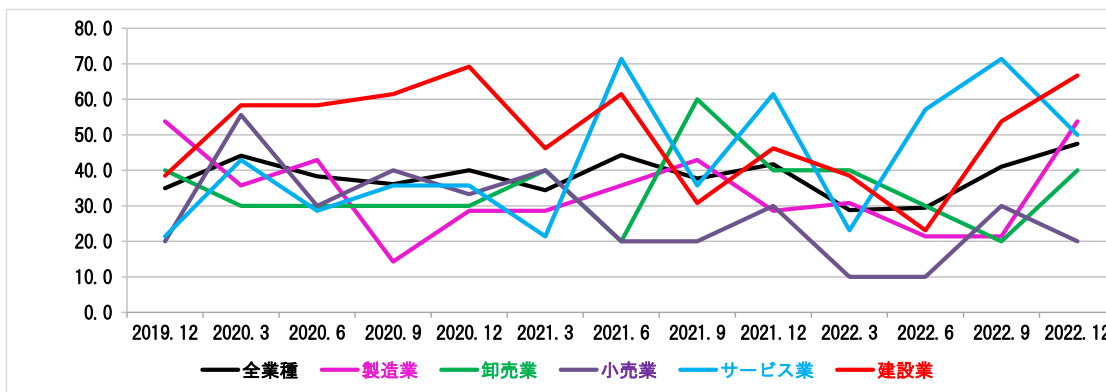
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12
全業種	-28.4	-5.9	-32.4	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2
製造業	-51.5	-14.3	-35.7	-42.9	-25.5	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8
卸売業	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0
サービス業	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4
建設業	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7
不動産業	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2

### 人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12
全業種	-37.3	-42.6	-26.5	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6
製造業	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8
卸売業	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0
小売業	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0
サービス業	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-30.5	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7
建設業	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3
不動産業	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3

### 設備投資実施企業割合 (%)



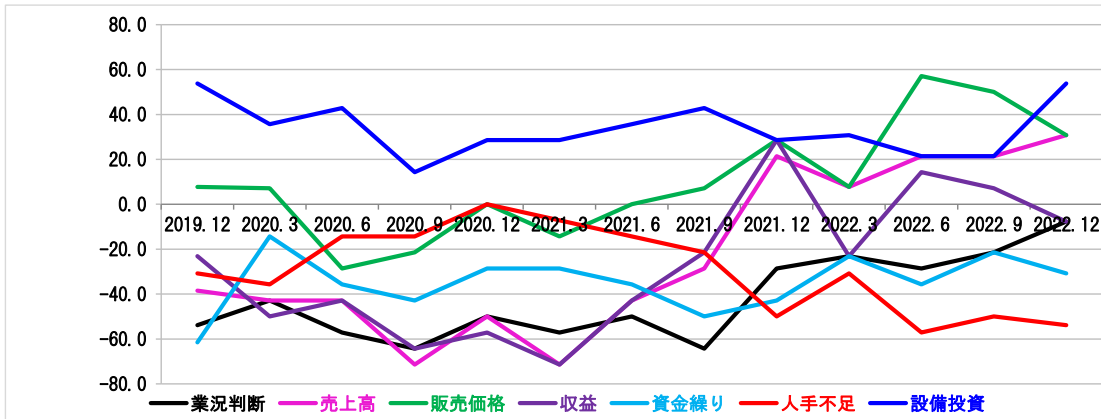
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12
全業種	35.0	44.1	38.3	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7	41.7	28.8	29.5	41.0	47.5
製造業	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8
卸売業	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0
小売業	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0
サービス業	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0
建設業	38.9	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7

※ 不動産業は、調査対象外である。



# 業種別時系列表

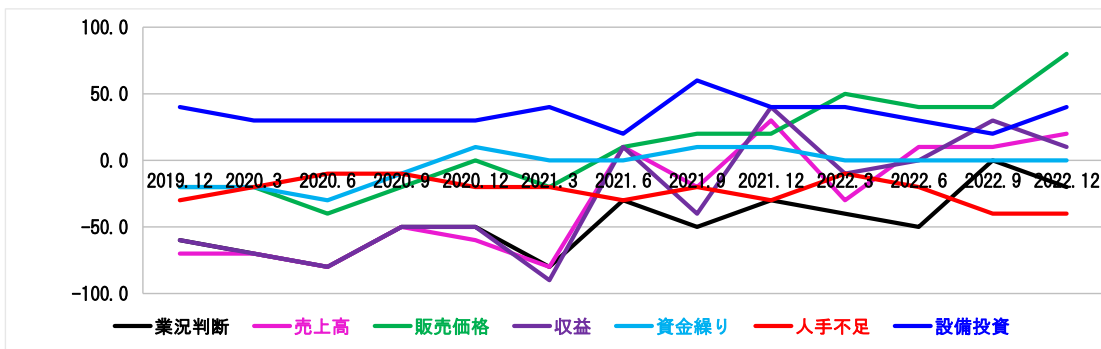
## 製造業



区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-23.1
売上高	-38.8	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	
販売価格	7.7	7.1	-28.6	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	28.6	7.7	57.1	50.0	30.8	
収益	-23.7	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.7	-7.7	
資金繰り	-51.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	
人手不足	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	
設備投資	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	

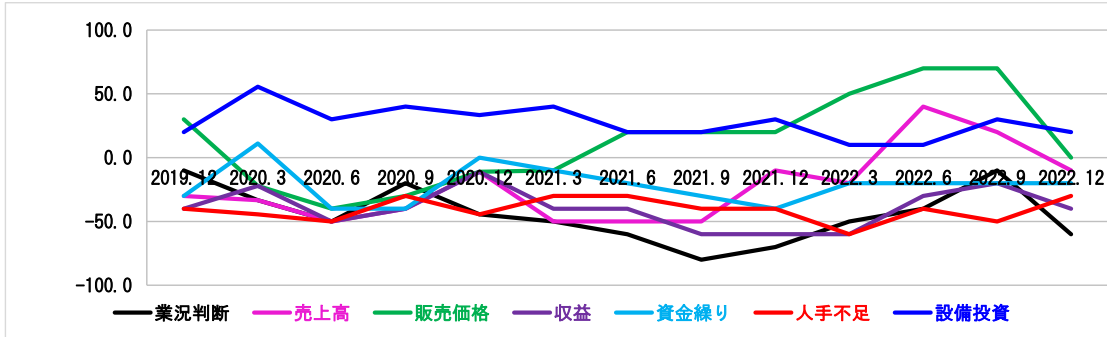
※ 2023.3は、見通しである。

## 卸売業



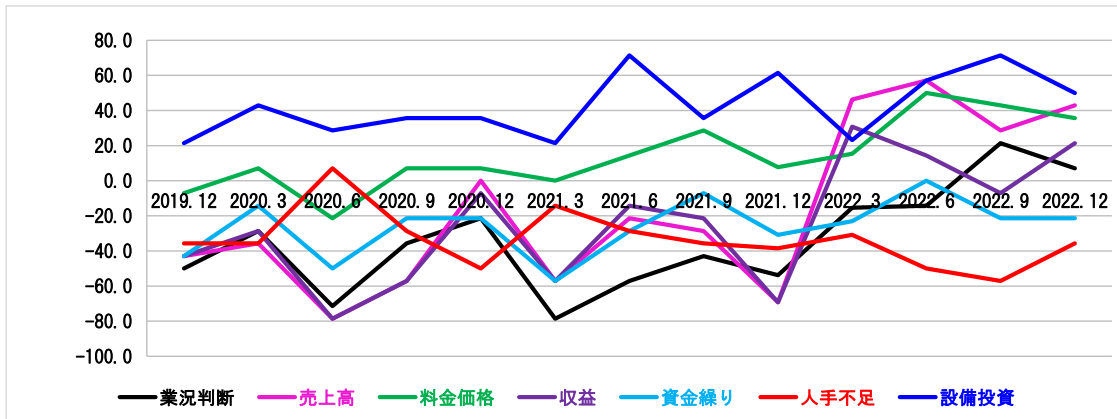
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-50.0
売上高	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	
販売価格	-20.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	40.0	80.0	
収益	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	
資金繰り	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人手不足	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	
設備投資	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	

## 小売業



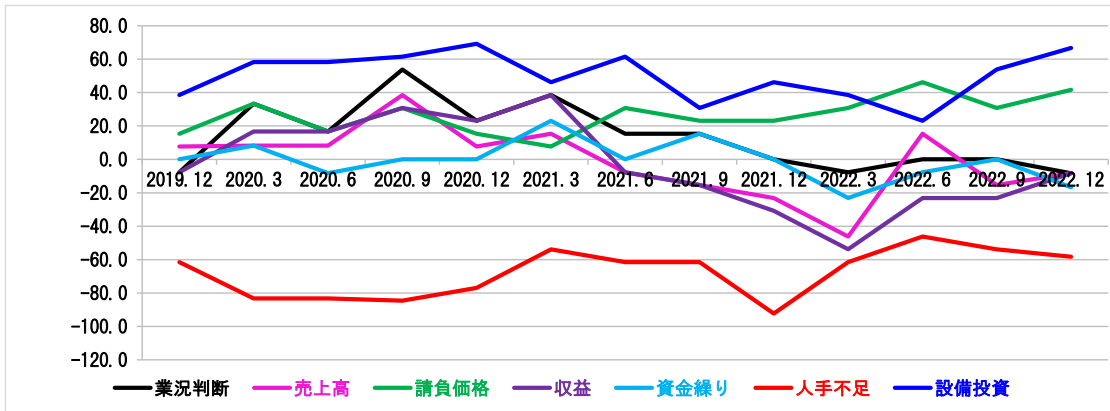
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-50.0
売上高	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	
販売価格	30.0	-22.2	-40.0	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	70.0	70.0	0.0	
収益	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	
資金繰り	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	
人手不足	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	
設備投資	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	

## サービス業



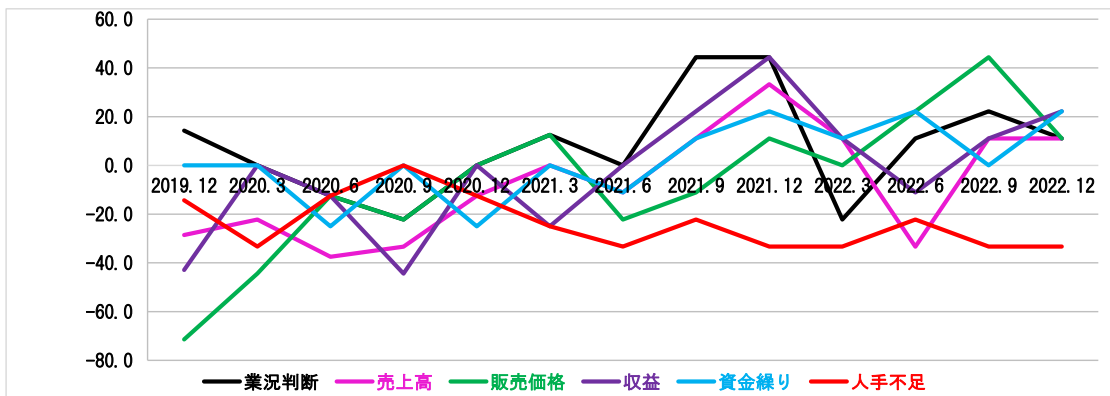
区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-7.1
売上高	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	
料金価格	-7.1	7.1	-21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	7.7	15.4	50.0	42.9	35.7	
収益	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	
資金繰り	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	
人手不足	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.6	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	
設備投資	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	

## 建設業



区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	-8.3
売上高	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	
請負価格	15.4	33.3	16.7	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	23.1	30.8	46.2	30.8	41.7	
収益	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	
資金繰り	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	
人手不足	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	
設備投資	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	

## 不動産業



区分	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3
業況判断	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	22.2
売上高	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	
販売価格	-71.4	-44.4	-12.5	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	
収益	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	
資金繰り	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	
人手不足	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	

※ 設備投資は、調査対象外である。

## たてしん中小企業景況レポート No. 20 特徴等

(令和4年(2022年)10月~12月)

### ◆業況判断D.I.◆

業況判断D.I.を見ると、全国では前期比7.0ポイント改善の△10.8、千葉県では前期比3.6ポイント低下の△15.3、南房総地域においては前期比13.2ポイントと大きく低下し△11.8となり、全国を下回る結果となりました。

今回の調査は原材料価格の上昇・高止まりが引き続き懸念される12月上旬の調査でしたが、**全国のみ業況は改善**したものの、**全国・千葉県・南房総ともにマイナス水準**という結果となりました。

次期の予想業況判断D.I.を見ると、全国△17.3(今期比△6.5)、千葉県△12.7(今期比+2.6)、南房総地域△19.1(今期比△7.3)と、**次期については千葉県が改善を見込んでいるものの、全国、南房総地域においては低下**が見込まれています。

### ◆南房総地域の業況判断D.I.(前期比)◆

南房総地域の業況判断D.I.の業種別では、卸売業△20.0(前期比△20.0)、小売業△60.0(前期比△50.0)、サービス業7.1(前期比△14.3)、建設業△8.3(前期比△8.3)、不動産業11.1(前期比△11.1)と、**6業種中5業種が低下傾向**となっています。一方、製造業は△7.7(前期比+13.7)と改善はしたものの、マイナス水準のままとなっています。

### ◆南房総地域の次期の見込み◆

次期の見込みについては、業種別では小売業と不動産業が改善を見込んでいる一方、建設業が横ばい、製造業、卸売業、サービス業が低下を見込んでいます。特に**卸売業(前期比△30.0)の落ち込みが大きく**、要因としては仕入価格の高騰や円安による影響と推測されます。

### ◆売上額判断D.I.(前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の売上額判断D.I.は引続きプラスとなりました。業種別で見ると、製造業、卸売業、サービス業、不動産業の**4業種においてプラスの水準**となり、小売業、建設業はマイナスの水準となりました。

### ◆収益判断D.I.(前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の収益判断D.I.は3期連続で改善し、0.0となりました。業種別で見ると、製造業△7.7、卸売業10.0、小売業△40.0、サービス業21.4、建設業△8.3、不動産業22.2となりました。

卸売業、サービス業、不動産業は売上額・収益判断ともにプラスの水準にあり、原材料・仕入価格の高騰等に対し、十分な価格転嫁が出来たことが考えられます。一方、製造業は売上額はプラスを維持したものの、収益判断がマイナスとなりました。

また、小売業と建設業は**売上額・収益判断ともにマイナス水準**にあり、仕入価格・

販売価格の高騰による顧客の買い控えや資材不足による工期の遅れ等の影響が推測されます。

#### ◆資金繰り判断D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断D. I. を業種別で見ると、不動産業 22. 2 (前期比+22. 2) と改善となりました。

その他の5業種は、卸売業 0. 0 (前期比±0)、小売業△20. 0 (前期比±0)、サービス業△21. 4 (前期比±0) と横ばい、製造業△30. 8 (前期比△9. 4)、建設業△16. 7 (前期比△16. 7) と低下しました。

#### ◆人手不足判断D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合(南房総地域)◆

人手不足判断D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△42. 6 (前期比+6. 0) と人手不足感は**若干弱まりました**。全ての業種でマイナスの水準となっていますが、**サービス業と小売業においては改善**しました。

一方、設備投資企業割合は 47. 5% (前期比+6. 5) と現在の調査方法となった 2018 年 3 月期以降最高水準に達しており、**全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持**しています。業種別では建設業が 66. 7% と最も高くなっています。

#### ◆特別調査「2023年(令和5年)の経営見通し」について◆

「2023年の自社の業況見通し」については、南房総地域では「悪い」(41. 2%)、「普通」(41. 1%)、「良い」(17. 7%) となり、全国でも「悪い」(44. 8%) という結果になりました。前年の同調査(「2022年の自社の業況見通し」)では、南房総地域は「悪い」が 57. 9% と今回調査より多く、**対前年比では行動制限の緩和等により景気回復を見込む事業者が増えた**ことが分かります。

「自社の業況が上向く転換点」については、「業況改善の見通しは立たない」が全国・南房総地域ともに最も多い結果となりました。南房総地域は 27. 9% と前年の同調査と比べて 6. 7 ポイント増加しており、**先行きの不透明感が強まった結果**となりました。

また、「2023年の自社の売上額の伸び率見通し」については、「変わらない」が 32. 4% と最も多い結果となりました。

「自社にとっての経営リスク」については、「**原材料・仕入価格のさらなる高騰**」(79. 4%) が最も多く、次いで「**原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰**」(47. 1%)、「**コロナなど感染症の再拡大**」(30. 9%) という結果になりました。また、「**台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害**」が、全国は 6. 6% に対して、南房総地域は 26. 5% と全国に比べて高い結果となりました。令和元年の房総半島台風を経験したことで、自然災害への関心が高まっていると推測されます。

当金庫では、地域の皆様から寄せられる様々な相談ごとをワンストップで受け付け、専門家や専門団体と協力し解決に繋げることを目的とした安房総合支援プラットフォーム(たてしんまるごと安心相談プラザ)の開設準備を進めております。また、テレワークやワーケーションが可能なコワーキングスペースも併設予定ですので、ぜひご利用ください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版(QRコード掲載)にて動画による解説を行っております。

## 2023年(令和5年)の経営見通し ※抜粋

2023年の自社の業況見通し			自社の業況が上向く転換点			
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	「自社の業況が上を向く転換点」については、全国・南房総ともに「業況改善の見通しなし」が最も多い結果となった。
非常に良い	0.2%	1.5%	すでに上向いている	14.4%	11.8%	
良い	1.7%	1.5%	6ヶ月以内	9.7%	14.7%	
やや良い	10.5%	14.7%	1年後	19.7%	23.5%	
普通	42.8%	41.1%	2年後	15.3%	10.3%	
やや悪い	34.4%	38.2%	3年後	11.6%	5.9%	
悪い	9.0%	1.5%	3年超	7.4%	5.9%	
非常に悪い	1.4%	1.5%	業況改善の見通しなし	21.9%	27.9%	

※良い:「非常に良い」「良い」「やや良い」 悪い:「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」

2023年の自社の売上額の伸び率見通し						「自社の売上額の伸び率見通し」については、全国・南房総ともに「変わらない」が最も多い結果となった。「増加」―「減少」で見ると、全国は5.0、南房総は8.8となり、増加が減少を上回る見通しが多かった。
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	
30%以上 増加	1.1%	0.0%	10%未満 減少	17.7%	14.7%	
10~29% 増加	10.9%	8.8%	10~29% 減少	8.6%	13.2%	
10%未満 増加	20.2%	29.4%	30%以上 減少	1.0%	1.5%	
変わらない	40.5%	32.4%				

自社にとっての経営リスク (最大3つまで回答)			
項目	全国	南房総	「自社にとっての経営リスク」については、全国・南房総ともに「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が最も多く、次いで「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」、「コロナなど感染症の感染再拡大」という結果となった。また、「台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害」が、全国は6.6%に対して、南房総は26.5%と全国に比べて高い結果となり、令和元年の房総半島台風を経験したことで、自然災害への関心が高まっていると推測される。
原材料・仕入価格のさらなる高騰	79.3%	79.4%	
原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰	40.9%	47.1%	
コロナなど感染症の感染再拡大	31.3%	30.9%	
ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化	14.0%	11.8%	
台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害	6.6%	26.5%	
取引先廃業等による売上げ激減	11.5%	11.8%	
経営者や従業員の健康問題	10.7%	8.8%	
コロナ融資の返済	8.9%	2.9%	
円安・インフレの加速	20.3%	16.2%	

### <調査の概要>

- ①調査時点: 令和4年(2022年)12月1日~7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。  
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国15,278企業(有効回答数13,361企業・回答率87.5%)  
千葉県324企業(有効回答数300企業・回答率92.6%)  
南房総地域 70企業(有効回答数68企業・回答率97.1%)  
※18年3月期に当地域の標本数34から70に変更しています。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。



創業について4つの質問をしてみました！

- ①創業日はいつですか？
- ②どういう事業をしていますか？
- ③創業した動機やきっかけについて教えてください！
- ④創業する際苦労したことは何ですか？

## 北総地区 創業者 特集



医療法人社団 清見台いい歯科

〒292-0041  
木更津市清見台東3-1-7  
☎0438-97-7090

<https://www.ishii-dc.net/>

- ①2018年6月
- ②一般歯科、歯周病、審美歯科、口腔外科、インプラント、小児歯科
- ③南房総市出身で、木更津地域にはよく訪れており、昔ながらの町の雰囲気と移住者の方々の活気が融合している魅力的な場所だったため。
- ④開業する場所を探すのに2年ほどかかり、やっと納得できる場所を見つけられたこと。

【医院から】

私自身、歯科治療が怖いからこそ、不安な気持ちはよく理解しています。そのため当院はそのようなお悩みをもつ方でもご来院しやすい歯科医院を目指しています。また、当院では土日も診療を行っており、平日はお仕事で忙しくて受診できない方でも安心して治療に取り組むことができます。

株式会社ワンハートジャパン

〒290-0004  
市原市辰巳台西1-9-8  
☎0436-63-6008

<http://www.one-heart.co.jp>

- ①2018年1月（法人設立）
- ②農作物の一次加工
- ③通年飲める梨ジュースを作りたい。そんな思いから一次加工工場を始めました。
- ④加工工場を作ったが、仕事が自社の梨の加工以外なく、営業の毎日でした。無名会社なので、社会的信用もなく苦しみました。法人にしてから仕事が少しずつ増え始め今に至ります。

【会社から】

農作物の一次加工。加工食品を作るにはまず一次加工（下処理）が必要です。弊社は県内でも希少な一次加工ができる工場を保有しています。様々なご希望にお応えべく機材も多種取り揃えております。一次加工商品全般を小ロットから承ります。『もったいない？に付加価値を』全国の農作物の廃棄ゼロを目指し、農作物に付加価値をつけて全国に販売することで、生産農家に還元すると共に地域の活性化に貢献し、お客様により良いサービスを提供できると日々考え取り組んでおります。

児童発達支援・放課後等デイサービス メリアキッズちはら台  
(株式会社クリプト・メリア)

〒200-0142  
市原市ちはら台1-2-12  
☎0436-76-7225  
<https://meriakids.jp/>

- ①2021年12月
- ②発達に遅れが見られる幼児・児童への療育・自立に向けたサポート、保護者の方の支援も行ってまいります。
- ③発達支援が必要な子供は日本で約10%いると言われています。そのような子供たちへの発達支援の環境作りは、まだ十分ではありません。学校では行えないことや保護者一人では解決することが困難な状態をお手伝いする為の場所を提供したいと考えました。そして、子供たちの「小さなできた！」を積み上げながら、社会生活のためのスキルを身に付け、子供たち一人ひとりが幸せな輝く未来へ歩んでいけるよう、少しでもお役に立たせて頂きたいとの思いから、創業に踏み切りました。
- ④福祉事業の一環の為、法令で決められた有資格者の人員確保が大変でした。また、開業前は子供たちが集まるかの心配もありました。

【会社から】

子供たちはそれぞれに特性が異なり、発達スピードも一人ひとり違います。個々の特性に応じた支援をすることが大切だと考えます。特性を持つが故に学校で行き詰ってしまった事の解決や、興味はあるが習い事に行けない等、経験の幅を広げるきっかけをつかむ事がなかなか出来ません。私たちは単に預かりサービスではなく、子供たちの体験と知識を拡げると共に成功体験を積み重ねる事で自己肯定を構築し、自信を持ち将来のビジョンを作れる時間と場所を提供します。